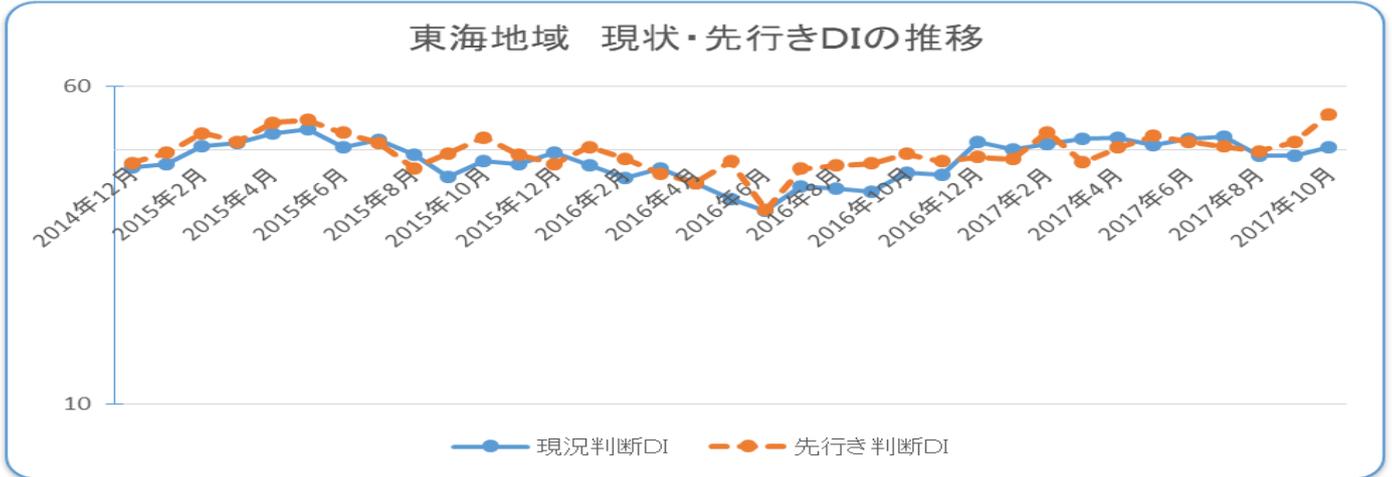


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2017年10月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《お客様の様子》競合店の出店が続く厳しい状況であるが、新商品や高単価品への客の関心が高く、売上にもつながっている。売上は前年同期をクリアしている。【スーパー（ブロック長）】
		不変	《お客様の様子》足元の景気は変わらないが、免許返納や自動車を手放す高齢者が複数いるため、増加するペースによっては影響が出てくる可能性がある。【乗用車販売店（経営者）】
		やや悪	《お客様の様子》リフォームの依頼は増えているが、特に賃貸物件では予算を抑える傾向にある。外装には金をかけるが、内装は低価格の材料が増えている。【その他住宅〔住宅管理〕（経営者）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》価格面では非常に厳しい状態が続いているが、半導体関係の影響で、工作機械は過去にない売上、受注になっている。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	《受注量や販売量の動き》短納期の案件が多く繁忙感強いが、全体としてはボリュームに欠ける。効率の良くない稼働状況が続いている。【金属製品製造業（従業員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》貨物の荷動きが前年同期比5.7%の減少で、やや悪くなっている。【輸送業（エリア担当）】
	雇用関連	やや良	《求人数の動き》3か月前に比べて、有効求職者数は変わらないが有効求人数が3.8%増加しているため、有効求人倍率は1.6倍から1.64倍に上昇している。【職業安定所（職員）】
		不変	《周辺企業の様子》求人倍率は1.0倍程度で推移し大幅な変動はない。企業では人手不足感が強いが、従業員の給料には反映されていない。【職業安定所（職員）】
		やや悪	《周辺企業の様子》慢性的な人手不足による不安感が大きい。企業の存続も危ういのではと考える人も多い。景気が良いという声は、富裕層が引っ張っている一部分だけである。【新聞社〔求人広告〕（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	新たな競合店に対抗するため、売上や利益の予算を低くして薄利多売や販売企画で客を呼び込む。競合店の開店効果も落ち着いてくるので、3か月後は良くなっている。【スーパー（販売担当）】
		不変	住宅関係等、建築工事は全般的に微増である。リフォーム、大規模改修や店舗改修等の工事は増加が見込まれる。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	人口減少の影響が大きい。特に当業界は女性客が多いが、若い女性が当地を離れて都会に行くため、将来的に不安である。【】
	企業動向関連	やや良	消費税の引上げにはまだ時間があるが、製品価格や商品単価アップの動きがみられる。メーカーの動きにつられてか、中小企業でも見積段階での金額が大きくなっている。【会計事務所（職員）】
		不変	個人投資家に動きが出てくると消費へも好影響がある。個人投資家以外は、給与が増えないと消費拡大に向かわないが、まだその動きは顕著にみられず、当面は現状のままの景気が続く。【金融業（企画担当）】
		やや悪	例年エンドユーザーは、年末年始に入るため動きが悪くなる。【建設業（役員）】
	雇用関連	やや良	長期就業者数は右肩上がり伸びており、業界平均の108%を上回る前年同月比110%となっており、今後も堅調に推移する。【人材派遣会社（支店長）】
		不変	人材確保に手詰まり感があり、最近の生産現場での不正発覚等もあり、製造・販売では、これまでのペースからは、やや減速する懸念がある。【職業安定所（所長）】
やや悪		人手不足から1人当たりの労働負荷は大きくなっており、プレミアムフライデーや働き方改革が実現できるとは思えない。現状の生産性をどのように維持するかを考えないと、景気はますます停滞していく。【新聞社〔求人広告〕（営業担当）】	